

## 第 2 回警察署協議会の開催状況

開 催 日	令和 4 年 6 月 1 5 日（月）午後 3 時 3 0 分～
開 催 場 所	福井南警察署 3 階 武道場
出 席 者	協議会委員 5 人 福井南警察署 署長以下 6 人
<p>会 議 概 要</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 協議会会長挨拶</li> <li>2 警察署長挨拶</li> <li>3 提言書手交 提言内容             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民（特に子ども、女性、高齢者）を各種犯罪・事故から守るための警察活動をお願いします</li> <li>・ 地域住民に対する安全・安心に関する情報の迅速かつ積極的な提供をお願いします</li> <li>・ 地域住民や企業等が行う防犯・交通安全活動への支援をお願いします</li> </ul> </li> <li>4 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 管内の治安情勢とこれまでの取組事項                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 管内の治安情勢</li> <li>イ これまでの取組状況</li> <li>ウ 警察署協議会からの意見を踏まえての活動</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>

(2) 質疑、応答

(委員)

先日、子どもの通学路付近の朝倉氏遺跡で子熊が出没したが、朝倉氏遺跡は特別史跡のため柵が設けられておらず、危険を感じた。私たち住民は、これまでも市に対して「子どもの安全対策」として柵の設置を申し入れているが解決されていない。警察で柵を設置することは出来ないか。

(警察)

警察が柵を設置することは難しいと考えるが、子ども達の安全を考え、市に働きかけるとともに引き続き地域の方々と連携していきたい。

(委員)

最近、横断歩道に歩行者がいると停止する車が増えてきたと感じている。一方、ドライバー側の立場で見ると、歩行者が横断歩道を横断するか判断しかねる場面もある。県警では「横断アクション・ペコリン運動」を展開しているが、大人は子どもと違い手を上げることに躊躇しているのではないかと考えている。

子どもが訪れる児童館には今回のペコリン運動のポスターが掲示されており、子どもに対するアプローチはできているが、公民館など大人が利用する施設へのポスター掲示が少ないため、大人、特に高齢者には浸透していないように思う。様々な場所にポスターを配布、掲示することにより、大人を含めた県民全体に、横断歩道を渡る際は手を上げるという意思表示が重要である事が広く認知されるのではないかと考えている。

(警察)

横断歩行者等妨害等違反の取り締まりと併せて、歩行者の横断歩道を渡る際の意思表示が県全体に広がるよう、人が集まる場所へのポスター掲示や各種広報活動を行い、運動の気運を盛り上げる活動を行っていきたい。

(委員)

福井市主任児童委員の会議で、生活安全課の方から「SNSに関する被害防止」という講演を行っていただいた。講演は、全国や福井県の被害児童数や被害事例のほかにも、イラスト、ショートムービーを交えてのものであり非常に分かりやすい内容であった。

このような講演は、中高生だけでなく、保護者等が対象となるような場所でも行って欲しい。

(警察)

この講演については、学校からの依頼により行っているのですが、順次、中学校や高校で実施したいと考えている。委員の皆様には、

活動の中で学校へアプローチできる機会があれば、是非アプローチをしていただきたい。

(委員)

現在、学校では新型コロナウイルスの影響で給食の時間は全員黙食を行っている。放送室も従来の活動を行えず、昼食時には映画を流しているが、映画の代わりに、この時間を利用して SNS の被害防止などのビデオを流すなどの広報を行ってはいかがか。

(警察)

給食の時間を使った SNS の被害防止等の広報は、時間の有効活用の観点からも良いアイデアだと思う。教育委員会や学校に積極的に働きかけを行っていききたい。

(委員)

民法の改正により、成年の年齢が 18 歳未満に引き下げられたが、今後、新成人が、新たに犯罪被害に巻き込まれる可能性があると思われる。高校生等に対して取り組んでいる被害防止対策があれば教えていただきたい。

(警察)

法改正に伴い、新成人がクレジットカードや SNS 等の被害に遭うことが懸念されており、当署では、一部の学校で「SNS に関する被害防止」の広報を実施している。今後も全ての学校で実施できるよう、学校側に働きかけていきたい。

(委員)

先般開催された防犯パトロール隊と警察との合同パトロールは有意義であった。お互いの顔が見えると、連帯も強まり情報も共有できるため、引き続き第一線で活動している関係機関・団体との合同活動を継続的に実施してもらいたい。